

平成30年司法試験予備試験短答式試験一般教養科目における
出題の誤りへの対応について

平成30年6月18日
司法試験委員会

平成30年司法試験予備試験短答式試験において、一般教養科目第28問の問題文に誤りがあったため、以下の取扱いとすることといたしました。

- 1 一般教養科目第28問の問題文「イ」の記述において、「17世紀末～18世紀初頭」とされていたものは「18世紀末～19世紀初頭」の誤りでした。この誤りにより、当該設問は正答となる肢のない不適切な設問となってしまいましたので、採点に当たっては、第28問を有効に選択した者は全て同問について正答として取り扱うこととします。
- 2 前記1の措置により合計得点が合格点である160点に達することとなった49人を合格者に追加することとし、既に合格者として公表済みの2,612人に49人を加えた2,661人を、平成30年司法試験予備試験短答式試験の合格者とします。

試験問題に誤りがあったことを心からおわび申し上げます。